

第1回 島田市子ども読書活動推進委員会

日時：平成30年2月21日（水）
午後2時～4時
場所：市役所会議棟 D会議室

次 第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 協議事項

(1) 「島田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）」の進捗状況について

別紙のとおり

(2) 次年度以降の計画進捗管理について

- ・現委員の任期は、29年6月1日から31年5月31日まで。
- ・第三次計画は平成33年度までなので、それまでは年1回の進捗管理をしていく。
- ・平成33年度には、第4次計画策定のため、年7～8日回の管理委員会、年3回の推進委員会を開催する予定。

1 計画の位置づけ

「島田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）」は、子ども読書活動の推進に関する法律（平成13年法律第154号）第9条に基づき、国の「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」と「静岡県子ども読書活動推進計画（第二次中期計画）」に沿って策定する。また、本計画は「島田市総合計画」にも位置付けられている。

2 計画策定の経緯

①平成19年3月「島田市子ども読書活動推進計画（第一次計画）H19～23年度」を策定

<主な取組>

- ・「島田市子ども読書100選」選定（20年度）
- ・インターネット予約システムの導入（20年度）
- ・金谷北・南支所、六合公民館（21年度）初倉総合行政センター（22年度）において、予約資料の受取、返却業務開始
- ・おはなし宅配便開始（21年度）
- ・図書館ボランティア養成講座開始（21年度）
- ・「キッズブック」開始（21年度）
- ・学校図書館支援事業開始（23年度）

<成果>

- ・図書館カードの発行数増加
- ・児童図書の出借冊数増加
- ・学校図書館の整備充実

②平成24年3月「島田市子ども読書活動推進計画（第二次計画）H24～28年度」を策定

<主な取組>

- ・家庭教育講座の開催
- ・学校司書の配置（26年度）
- ・県読書アドバイザーの養成
- ・地域でのおはなし会の定着
- ・図書標準を達成している学校の増加
- ・市立図書館での読書通帳機の導入（24年度）
- ・大津農村環境改善センター、北部ふれあいセンターでの予約資料の受取・返却業務開始（28年度）
- ・「ぬいぐるみお泊り会」「本の福袋・おみくじ」等のイベントの増加
- ・川根小学校と川根図書館の併設
- ・静岡福祉大学との相互協力協定締結

<成果>

- ・本の選び方に興味、関心を持つ大人が増えた。
- ・学校図書館を活用した授業に取り組む学校が増えた。

- ・学校図書館に人がいることで、子ども達の居場所づくりができた。
- ・地域や学校、家庭との本の架け橋を推進する人材が増えた。
- ・学習に市立図書館の本を活用する子どもが増えた。
- ・障害者の読書活動を支援する機能が充実した。

③平成 29 年 3 月「島田市子ども読書活動推進計画(第三次計画)H29～33 年度」を策定

※ 平成 28 年度、島田市子ども読書活動推進委員会 3 回（管理委員会 7 回）開催

※ 議会提出、パブリックコメント実施後、教育委員会の承認を経て、発行

※ 施策の内容は、冊子「島田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）」のとおり

・数値目標を掲げていない（実績のみ記載）

・第二次計画取組後の課題に対し重点的に取組む内容となっている。

島田市子ども読書活動推進計画 第三次計画 進捗状況管理表				A (取組・成果共に、よくできた) B (取組はできたが、成果には課題が残る) C (取組・成果共に、もっと努力したい)	通し 番号
1 家庭における子どもの読書活動の推進		担当課	H29評 価	H29 取組内容	
1-1	(1) 保護者の理解促進のための情報提供や学習会の開催	社会教育課 図書館課			
1-1-1	■ 保護者への情報提供				
	・ 広報紙やホームページなどを活用し、子どもの年齢にあった良い本の情報や読書に関連したイベント情報の発信を行います。		A	・ 県が作成した本の紹介パンフレットを児童と保護者に配付した。 ・ 「こどもとしゃかんだより」を図書館のホームページで公開している。	1
	・ 親学リーフレット「3さいっこがんばりノート」「親学ノート」の配付や家庭教育講座、家庭教育学級などを通して、家庭での読み聞かせや読書の重要性について伝えていきます。		A	各リーフレットの配付を行った。就学時健診を利用した家庭教育講座では、18小学校校で実施し、読み聞かせの大切さを伝えた。	2
1-1-2	■ 学習会や講座の開催				
	・ 保護者や読み聞かせボランティア等を対象に、読み聞かせや読書の重要性を学ぶ学習会等を行い、保護者や読み聞かせボランティアの意識向上を図ります。		A	読み聞かせ講座（基礎）を開催し34名が参加した（9月27日開催）	3
	・ 家庭教育講座などの学習会を通して、子ども読書活動の重要性や読み聞かせなどの方法について保護者へ周知します		A	家庭教育講座で、本の大切さや楽しみを伝え、図書館やお話し会への参加を促した。	4
1-2	(2) 家庭での読書活動への支援	社会教育課 図書館課			
1-2-1	■ 家庭での読書活動の推進				
	・ おはなし会への参加を呼びかけ、親子で本に出会い、本に親しめるよう支援します。		A	家庭教育講座や子育て広場で、本の大切さや楽しみを伝え、図書館やお話し会への参加を促した。	5
	・ 大人も本を楽しみ、家族団らんの中で家庭での「読書の時間」がもてるように読書活動を推進します。		A	子育て中の人を対象とした、絵本の広場を開催する。（2月27日開催）	6
	・ 子どもが読書に親しむきっかけを増やすため、園や学校の読書推進活動を支援します。		A	読み聞かせボランティアハンドブックを作成し、学校に配布した。	7
	・ 家庭の日を利用して、「家庭読書」への取組を呼びかけます。		A	家庭の日の取組みのひとつとして、読み聞かせの大切さを講座や家庭教育情報誌「絆」で啓発している。	8
2 地域における子どもの読書活動の推進		担当課			
2-1	(1) 地域施設における図書コーナーの整備と充実	社会教育課 子育て応援課 図書館課			
2-1-1	■ 図書コーナーの整備と図書資料の充実				
	・ 児童センターや地域子育て支援センター等においては、書架スペースが限られているため、子どものニーズに合った図書資料を厳選するとともに、寄贈資料や市立図書館資料の受け入れを積極的に行うことで、子どものための図書資料の充実に努めます。		B	話題になっている本や新しい絵本を買いたいが、予算が少なくなかなか購入できない。	9
	・ 子どもたちが放課後の時間を過ごす放課後児童クラブには、本を身近に置くように働きかけます。		A	図書館の団体貸出しを利用している。	10

2-1-2	■ 施設職員の研修機会の創出				
	・地域における施設の職員が、子どもに様々な読書活動の機会を企画・提供するために、研修機会を確保できるよう支援します。		B	読み聞かせボランティアと施設職員に呼びかけ、講座や研修会への参加を促した。	11
	・各施設において、職員同士が子どもの読書活動の推進について情報交換する機会を設けるよう働きかけます。		B	社会教育課施設長会議において、情報交換を行った。今後は、担当者会議でも情報交換を実施したい。	12
2-1-3	■ 読み聞かせやおはなし会の実施				
	・各施設が独自に企画する子どもを対象とした行事の中に、今後も読み聞かせやおはなし会を意図的に取り入れていきます。また、妊娠中の母とその家族を対象とした行事では、胎児期からの読み聞かせの重要性を伝えていきます。		A	行事内で絵本や紙芝居の読み聞かせ等を実施（こども館、児童センター、児童館、児童クラブ、支援センター） 日常的に読み聞かせを実施（児童クラブ） ・読み聞かせ講座など施設主催の企画を実施している（9施設中4施設）。 ・伊久身「おはなしカフェ」、金谷「元気キッズ」、楽習「指人形作りと遊び方」、北部「子育てふれあいネット」	13
	・公民館は、読み聞かせボランティアの活動拠点としての利用を促進し、子どもたちに本の楽しさや魅力を伝え、本と親しむための活動の場となるよう努めます。		A	公民館等では、施設を拠点として活動している読み聞かせボランティア団体の事業を公民館便りで住民に周知したり、定期的な活動ができるように期間外予約の公用受付など事務的な支援をしている。ボランティアや住民に図書の出し出しを行っている。伊久身センター図書室の整備を職員で行った。	14
2-1-4	■ ボランティアの育成				
	・ボランティアを育成していくために、関係機関は講習会や研修会の充実に努めます。		A	読み聞かせ講座（基礎）を1回開催した。（9月27日）。その他、県などが主催する講座や研修会の案内を施設等で配架している。	15
	・島田の民話や昔話を取り入れるなど、郷土愛を育む活動のできる読み聞かせボランティアの育成に努めます。		A	静岡県図書館大会に、図書館職員、社会教育課担当、市内ボランティアが参加した。（昔話の講演会）	16
2-1-5	■ ボランティアの活用				
	・公民館では、中学生、高校生のボランティアを積極的に受け入れます。		B	・子育て広場（六合公民館）で、大学生ボランティアの絵本の読み聞かせの受け入れを行う。（3月9日） ・ねこバスが六合公民館を会場に中高生ボランティアによる読み聞かせを行った。（六合中学校・島田工業高校演劇部）	17
	・県子ども読書アドバイザーの活用を進めます。		A	平成29年度から、4名がペアレントサポーター読書チームとして活動している。家庭教育学級等で読み聞かせの講座を実施している。	18
2-1-6	■ 市立図書館との連携				
	・公民館等と市立図書館が連携し、図書館職員による子どもの興味に合わせた本の入替えを継続するなど、子ども読書活動の推進に努めます。		A	図書機能がある施設では、図書館職員による本の入替えを実施している（9施設中5施設）。	19
	・市立図書館が行うおすすめ本やイベントに関する情報を公民館利用者や児童センター、地域子育て支援センター、放課後児童クラブなどに提供します。		A	子育て広場（みんくる）で、金谷図書館職員によるミニ講話を行って図書の紹介をしている。（月1回）。図書館のイベント案内を講座や公民館等で配布している。	20

3 園・学校における子どもの読書活動の推進		担当課		
3-1	(1) 幼稚園や保育園における読書活動推進のための取組	保育支援課		
3-1-1	■ 図書資料・コーナーの充実			
	・幼稚園、保育園に対して、単に蔵書数を増やすだけでなく、発達段階に応じた興味に沿った図書資料の充実を奨励します。	A	市内保育園、幼稚園及び認定こども園の全26園中、21園で蔵書数の増、25園で発達段階に応じた図書資料等を揃えるようにしている。	21
	・読書活動の中核である各園の図書コーナーがより本の読みやすい場となるよう、その整備を促します。	B	15園において、今年度整備を行った。 ・玄関の一角に絵本コーナーを設け、お薦め絵本を展示、貸し出し。 絵本を分類別に整備し、より選びやすい状態にした。 ・落ち着いた読めるようベンチで囲み、独立したコーナーにした。	22
3-1-2	■ 職員等に対する研修の充実			
	・子どもの発達段階に合わせた選書をするための知識や情報収集力を養うとともに、読書活動に関する技能の向上を図るため、職員を対象に、専門講師による読書活動に関する研修を行います。	B	17園で実施した。 ・「こどもと楽しむ絵本の世界」（民間保育園協会の研修） ・こどもの友社による園内研修 ・保育士間で読み合いをして技術の向上に努めている。	23
3-1-3	■ 関係機関との連携の促進			
	・学校、市立図書館等との連携を密にするとともに、読み聞かせボランティアグループとの連携を一層深め、読書活動が充実するよう促します。	B	15園において学校、市立図書館等との連携、11園において読み聞かせボランティアグループと連携し実施した。	24
3-1-4	■ 読書活動の工夫			
	・幼稚園、保育園においては、乳幼児期における読書活動は、人との温かなふれあいを基盤に視覚や聴覚を通して様々に取り組まれることが大切であることを念頭に置き、読み聞かせやパネルシアター、エプロンシアターなど、多様な読書活動が展開されるよう支援します。	A	22園において、多様な読書活動を実施した。 ・各クラスや異年齢で読み聞かせをしている。誕生会等の行事のときにパネルシアターやブラックシアター、人形を使ったお話など読書活動ではなく、お楽しみとしてやっている。 ・ペープサート、ブラックシアター、手袋シアターなど ・朝の会や集会時に大型絵本やパネルシアター等を活用している。	25
	・子どもの読書活動への興味や関心を高めるとともに、読書意欲を引き出すため、「島田市子ども読書100選」の推奨など、幅広い分野の選書に努めます。	B	14園において、「島田市子ども読書100選」を参考に選書している。他の園も雑誌等を参考に選書している。	26
3-1-5	■ 障害のある子どもに対する読書活動の支援			
	・「こども発達支援センター」では、その障害の種類や特性に応じた読書活動を展開できるよう、蔵書の充実を図ります。	A	・図書館の除籍本配布時、特性に応じた本（図鑑・簡単な繰り返しの絵本等）の譲渡を受けた。 ・障害の理解につなげるため、保護者向け参考書籍を購入し、紹介、貸し出すなど利用を促した。	27
	・障害のある子どもたちが楽しめるような読書活動を取り入れるよう努めます。	A	・大型絵本で繰り返しのあるストーリーの物を選び、何度も読み聞かせをしていくことで、興味を持ち子ども達が繰り返しの部分を自ら口にするようになってきた。 ・読み聞かせを繰り返したことで、「好きな本」ができ、自分で選んで読んでほしがることがみられるようになった。（2,3人） ・音楽をかけながらのペープサートは、とても喜び集中している。	28

3-2	(2) 学校における子どもの読書活動の推進	学校教育課		
3-2-1	① 読書活動の充実			
3-2-1-1	■ 学校図書館に係る年間指導計画等の作成・活用			
	・各教科や特別活動、総合的な学習の時間など全教育活動を通して学校図書館の活用が図られるよう、各学校で学校図書館に係る年間指導計画等を作成し、教育課程に位置づけます。	B	・学校図書館に係る年間指導計画等が作成されているが、その実践が有効であったかを評価し、改善を図るまでにはなかなか至らないことが多い。	29
3-2-1-2	■ 読書活動及び学校図書館を活用した学習活動の充実			
	・学校図書館の「読書センター」としての機能や、「学習センター」「情報センター」としての機能の充実と活用を図ります。アクティブラーニングの視点からの授業改善（主体的・対話的で深い学びの実現）に向けて、子どもの主体的・意欲的な学習活動の充実や情報活用能力等の育成のため、調べ学習や言語活動の充実、図書館利用方法の学習を推進します。	A	・年度はじめに、児童・生徒が自ら必要な情報を集めることができるように、図書館の利用の仕方を指導している。 ・国語科の教材に関係する図書を学年ごとわかりやすく配架している。 ・各学年の授業に合わせ、並行読書や学習に必要な資料を揃える。 ・新聞等を閲覧しやすいような環境を設定する。	30
3-2-1-3	■ 本に親しむ機会の提供			
	・朝読書や読み聞かせが、全ての学校で実施されているので、今後も継続するとともに、内容の充実を図るよう努めます。	B	・各学校で読み聞かせボランティアを募集している。学校職員もすすんで読み聞かせをしている。今後、ボランティアの裾野を広げるような募集方法に工夫が必要。	31
	・子どもの読書の実態を十分に踏まえた読書活動を推進します。例えば、図書委員会が中心となって、新刊やお気に入りの本を紹介したり、読書活動を盛り上げるために取り組んだりする活動を継続・推進します。	A	・常時の貸出活動に限らず、おすすめのコーナーを設置したり、掲示物を作成したりする環境整備を行っている。年2回の読書習慣には、児童・生徒のアイデアを生かした楽しいイベントを企画・運営している。	32
3-2-1-4	■ 島田市子ども読書100選の推奨			
	・子どもが良書に出会い、読書の楽しみを味わえるよう「島田市子ども読書100選」を推奨します。「島田市子ども読書100選」については、平成30年度改訂を目指して検討していきます。	A	・島田市子ども読書100選の改訂に向け、各校や市立図書館の貸出数を調べ、検討する際の資料とする。平成30年度島田読書100選見直し委員も決定したので、今年度中に準備会をもち、来年度に備える。	33
3-2-1-5	■ 家庭での読書の推奨			
	・読書習慣の定着や読書を通して家族のコミュニケーションを深めるため、家庭での読書活動を推進します。	A	・学校によって、呼び方は様々であるが、「親子読書」や「家読」等に取り組んでいる。	34
	・保護者会、入学説明会、家庭教育学級や学校だより等で、読書の意義や必要性、読書の楽しさを保護者に啓発します。	A	・具体的な方法を示しながら啓発を行っている。 ・すべての家庭教育学級で読み聞かせ講座を行っている。	35
3-2-1-6	■ 障害のある子どもの読書活動の推進			
	・特別支援学級では、発達の段階や障害の状況、多様なニーズに応じた学級文庫の充実を図ります。	B	・障害に応じた本の購入や学級文庫の設置や読み聞かせでの配慮を行っている。	36
	・障害のある子どもが利用しやすいように、配架や書架の高さや表示等の環境を整えたり、貸出・返却方法を簡素化したりします。	A	・ユニバーサルデザインの表示となるよう工夫をしている。（例：文字だけでなく、イラスト等視覚的支援を取り入れる。）	37

3-2-2	② 学校図書館活動を推進・支援する人的な体制の充実				
3-2-2-1	■ 学校体制づくりや司書教諭・学校司書の配置・促進				
	・校内では、校長のリーダーシップの下、司書教諭・学校図書館担当者が中心となり、図書館活動のための協力的な体制づくりをしていきます。また、司書教諭がコーディネーター的な役割をし、教員一人一人が学校図書館を活用した授業を行えるよう促します。	A	・授業に関係する本のリスト（並行読書）等を作成している。司書教諭・学校司書が、選書し、すぐに授業に役立てるように準備をしている。	38	
	・12学級以上の学校だけでなく、11学級以下の学校にも司書教諭資格者を配置できるよう努めるとともに、学校内における司書教諭の職務に対する理解を促します。	A	・司書教諭の免許をもっている教員を増やすことが急務であるので、司書教諭の免許を取りやすくすることや免許を有する人を採用することの必要性を様々な研修会で伝えた。	39	
	・学校司書が兼務にて全校に配置されていますが、専任配置できるよう検討します。	A	・平成30年には、学校司書が11名から12名に増える予定である。	40	
3-2-2-2	■ 学校図書館に係る研修の実施				
	・図書館教育や読書指導の一層の充実を図るために、司書教諭・学校図書館担当者や学校司書を対象とした研修会を今後も開催し、資質の向上を図ります。	A	・学校司書の研修会を年間7回行った。司書教諭・学校図書館担当研修会は、年間2回行い、資質の向上に努めた。	41	
3-2-2-3	■ 学校司書・図書ボランティアとの連携				
	・学校司書は、学校図書館の諸事務に当たるとともに、レファレンスサービスや教材等の準備への協力など、授業者との連携を図ります。	A	・学校司書は、授業者が必要とする本を選書し準備することができている。	42	
	・学校の読書活動の充実と学校図書館の活性化のために、各学校の実情に応じて、静岡県子ども読書アドバイザーを活用し、ボランティア等を導入したり、ボランティアとの協力体制を整えたりしていきます。	A	・ボランティアが、積極的に図書館運営にかかわってくださることにより学校図書館の環境整備が行き届くようになった。	43	
3-2-3	③ 学校図書館環境の充実				
3-2-3-1	■ 魅力的な図書資料等の計画的な整備・充実				
	・子どもの知的活動を促進し、様々な興味・関心に応えるため、また各教科等における多様な学習活動を展開するために、必要な幅広い分野の資料を計画的に整備します。	B	・予算に応じて、幅広い分野の本を購入している。谷田川報徳社から頂いた寄付金で、さらに充実を図ることができた学校もあった。しかし、必要な図書を揃えるだけの予算が十分でない学校もあり課題は残る。	44	
	・情報が古くなった図書資料の廃棄・更新を進めながら、計画的な図書購入によりすべての学校で図書標準100%の達成に努めます。	A	・学校司書の研修会で、廃棄基準を確認した。校長や司書教諭に許可をとり廃棄をすすめることを促した。	45	
3-2-3-2	■ 学校図書館・校内の環境整備				
	・学校図書館が子どもにとって行ってみたいくなる場となるように、季節感あふれる掲示やくつろいだ雰囲気での読書ができる環境整備に努めます。また、校内に学校図書館に誘うための掲示や仕掛け作りをします。	A	・司書教諭、学校図書館担当者、学校司書、ボランティアによる環境整備が全ての学校で取組まれている。	46	
	・魅力ある図書資料や学習に活用できる十分な資料が見つけやすく、手に取りやすい状態で配架されていることも大切です。書架や資料自体の配置について、工夫・改善します。	A	・司書教諭、学校図書館担当者、学校司書、ボランティアによる環境整備が全ての学校で取組まれている。図書館支援員同士が互いの仕事の様子を見たり、情報交換することにより、よりよい配架に努めている。	47	
	・図書管理ソフトを市内で統一できるよう努めるとともに、データベース化した学校図書館の管理・運営（※12）を継続し、活用状況を把握し、指導の振り返りや蔵書点検等に有効活用していきます。	A	・図書館管理ソフトを市内で今年度中に統一する計画である。	48	
3-2-3-3	■ 学校間、市立図書館との連携				
	・子どもたちへの図書資料提供が充実するために、市立図書館の団体貸出や学校間協力貸出の活用を図ります。また、団体貸出搬送業務についても検討していきます。	A	学校図書館担当者研集会で、団体貸出について説明し、各校、必要に応じて活用をしている。	49	
	・学校間の資料検索については、学校図書館間LANシステムの構築に合わせて検討します。	B	・ネット回線の問題等があるものの、教育総務課と連携し、前向きに検討している。	50	

4 図書館における子どもの読書活動の推進		担当課		
4-1	(1) 市立図書館の整備と機能の充実	図書館課		
4-1-1	■ 図書館施設の整備			
	・子どもにとって魅力あふれる図書館を目指し、自発的な読書活動への意欲を高めるため、読んだ本や時期が記録として残せる「読書通帳」をはじめとするさまざまなサービスの導入に努めます。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度、島田図書館に加え、金谷図書館・川根図書館にも読書通帳機を追加導入し、市内全図書館に設置が完了した。 ・小学生の施設見学の際には、カードと共に読書通帳も作成してもらうよう学校へ声掛けをした。 ・川根小学校では全校児童に対して、読書通帳機利用法のオリエンテーションを実施した。 ・読書通帳交付実績（平成29年4月から平成30年1月末 1,007冊、平成24年9月22日からの累計交付5,456冊） 	51
	・バリアフリー対応により車いすやベビーカーの使用も可能とすることで、身体の不自由な方や乳幼児を連れての方が利用しやすい環境を作ります。	A	島田図書館には、ブックカート10台とベビーカーを5台を設置している。金谷図書館では平成29年度に、ブックカート2台、ベビーカー1台購入。平成30年度以降、増やしていく予定。	52
	・おはなしの部屋を、より多くの親子が参加しやすくなるよう環境整備します	A	<p>おはなしの部屋周辺に、幼児絵本を配架し、乳幼児とその保護者の目に触れやすい工夫をしている。</p> <p><おはなし会参加者数></p> <ul style="list-style-type: none"> ・島田図書館（996人） ・金谷図書館（333人） ・川根図書館（219人） 平成30年1月末現在 	53
4-1-2	■ 図書資料等の充実			
	・子どもの読書意欲を高めることや、調べ学習に取り組む子どもの期待に応えることができるよう資料や情報の充実に努めます。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・毎週、児童書の選書会議を開いている。 ・島田市子ども読書100選コーナーを設置している。 ・各館のYAコーナーの資料充実に努めている。 	54
	・特集コーナーの設置や企画展示の実施など、図書資料を利用したくなる工夫を講じます。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季/冬季休暇の前に、児童の利用増加を図るため、一部地域の学校図書館に、市立図書館蔵書紹介コーナーを設置し、長期休暇中の図書館利用を促した。 ・各館の児童書フロアに、季節や行事に沿った特集コーナーを設置している。 	55
	・小学校高学年から中学、高校生向けの本を集めたヤングアダルトコーナー資料の充実に努めます。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・金谷、川根地域の中高生生にアンケートを実施し、選書の参考にした。 ・YA向けのチラシを作成し、中学校、高校に配布した。 ・地元の中学生在がボランティアとしてYAコーナーの整備を行った。 	56
4-1-3	■ おはなし会等の実施			
	・ボランティアの協力を得ながら、読書週間における「おはなしマラソン」や毎月の定期的な「おはなし会」等をさらに充実させます。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・H29年度、大人の読み聞かせボランティアに加え、大学生ボランティアが1名金谷図書館に加わった。 ・島田図書館で、おはなし会とイベントを組み合わせた「きもだめしおはなし会」や「ぬいぐるみ図書館おとまり会」を開催した。 	57
	・現在行っている「おはなし宅配便」をさらに拡充し、子どもが本に親しむきっかけをより多く提供できるよう努めます。	A	H29年度より、幼稚園・保育園だけでなく、子育て支援センター・こども発達支援センターでも「おはなし宅配便」を実施した。	58
4-1-4	■ 読書ガイドブック（ブックリスト）の作成および広報			
	・子どもたちに魅力的な読書情報を伝えるため、7ヶ月児健康相談時に「ブックスタート用おすすめ絵本リスト」、3歳児健診時に「キッズブック用おすすめ絵本リスト」、定期的な広報紙として年4回発行の「おすすめえほん」「こどもとしゃかんだより」を作成しています。リスト等のデータは電子化し、図書館HPに載せ、情報発信に努めています。	A	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にリストの内容を一新し、児童書の貸出冊数増加につなげている。 ・「図書館福袋」「図書館おみくじ」「本の帯まつり」等のイベントを実施し、普段自分では手に取らない分野の本との出会いを演出している。 	59

4-1-5	■ 職員の資質向上				
	・子どもの読書活動を支援できる専門的な知識やスキルをもった職員を養成します。各種研修会や講習会への参加を促し、子どもの調べ学習やレファレンスに適切に対応できるようにします。		A	静岡県図書館協会などで行われる「児童サービス研修」等に参加した。	60
	・読み聞かせに関する各種講座や、学校の家庭教育学級等で、講師が務められるよう日々の業務を通して職員の資質向上に努めます。		A	・市内の小学校でブックトークを実施した。 ・小学校の家庭教育学級で、家庭における読書の効果等について講座を実施した。 ・社会教育課や子育て応援課主催の講座に参加し、図書館のPRや児童書の紹介をする等の実践経験を積み、職員の資質向上を図った。	61
4-1-6	■ ボランティアの養成と活用				
	・環境整備ボランティアを養成するための講座を継続的に開催し、研修内容の充実と参加者の拡大に努めます。		A	修理ボランティア、書架整理ボランティア養成講座を開催し、新規ボランティア登録者を確保している。	62
4-1-7	■ 障害のある子どもや外国籍の子どもの読書活動支援				
	・静岡福祉大学などと連携し、子どもや障害者が利用できる資料の展示や収集に努めます。		B	・拡大読書機を（島田・金谷・川根にそれぞれ1台ずつ）設置している。 ・デイジー図書を導入した。	63
	・在住外国人の子どもが気軽に図書館を活用できるよう、外国語による児童書の充実に努めます。		B	様々な言語の洋書を所蔵しているが、利用は多くない。学校教育課や市民課と連携し、外国籍の子どもの実態を把握し、どのような支援が必要か確認したい。	64
	・特別支援学校に通う子どもを対象とした図書館見学や職業訓練を積極的に受け入れ、図書館の利用方法や読書の楽しさを学んでもらえる機会の充実に努めます。		B	・3館ともバリアフリー対応の施設である。 ・特別支援学校から依頼があった時は、勤労体験の受入を実施している。	65
4-1-8	■ 他の公立図書館等との情報交換				
	・職員の資質向上を図るため、県立中央図書館や他市町の公立図書館、学校図書館との情報交換に努めます。		A	学校図書館支援員と連絡をとり、授業に必要な図書のジャンルやテーマを把握し、市立図書館の選書に活かすよう心掛けている。他の公立図書館とは、随時連絡を取り合い、日常の業務の参考にしている。	66
	・職員を、静岡県図書館協会や静岡市立図書館協議会などの関係団体が主催する各種研修会に積極的に派遣し、資質向上に努めます。		A	可能な限り、すべての職員が担当業務に関連した研修会に参加できるよう年間計画を立てている。	67
4-2	(2) 学校図書館や幼稚園・保育園、公民館との連携	図書館課			
4-2-1	■ 施設見学、勤労体験の受け入れ				
	・図書館見学の受け入れを積極的に行い、図書館のしくみや利用方法、本の探し方などについて解説します。また、図書館カードを発行することで、図書館利用の促進に努めます。		A	<施設見学の受け入れ> ・島田図書館 13校 618人 ・金谷図書館 2校 264人 ・川根図書館 1校 全校生徒	68
	・中学生、高校生、大学生の勤労体験や小学生の一日体験図書館員の希望者を受け入れ、図書館業務について理解を深めてもらうと同時に、図書館の利用促進に努めます。		A	・高校生の職業体験受入れ（島田1名）・中学生の勤労体験学習（島田4校7人、金谷1校2人、川根1校9人） ・小学生夏休み一日体験図書館員（島田16人、金谷8人、川根4人） ・NPO法人クロスメディアしまだ主催のこどもわくワーク受入れ（島田4人）	69

4-2-2	■ 関係機関との連携				
	・ 市立図書館の団体貸出サービスやレファレンスサービスを有効に活用できるよう、関係機関との連携を強化します。		A	司書教諭研修会の際、市立図書館の利用案内をした。団体貸出などについての文書を各学校へ配布した。	70
	・ 市立図書館の団体貸出だけでなく、国際子ども図書館や県立中央図書館が調べ学習等のために用意しているセット貸出制度の積極的な活用を学校等へ働きかけます。		B	学校へ県立中央図書館のセット貸出の案内をしているが、希望する学校がなかった。	71
	・ ブックスタート事業(※16)、キッズブック事業(※17)以外にも、他課の事業とタイアップした新たな事業を実施し、子どもたちとその保護者に読み聞かせの大切さを伝える機会を作ります。		A	・ 社会教育課主催の「夏休みの宿題についての講座」「絵本講座」「おはなしカフェ」に参加した。 ・ 子育て支援センター主催の「絵本講座」に参加した。 ・ こども館主催の「すくすくタイム」に参加した。	72
	・ 産業支援機関と連携した子育て中の保護者の就業支援や、家庭読書の時間を捻出するためのヒントとなるコーナーを作ります。		B	・ 産業支援センターへ就業のヒントになる資料が図書館にあることをPRした。 ・ 家族読書、親子読書の参考になる資料を育児コーナーに配架している。	73
4-2-3	■ 合同研修会の開催				
	・ 学校図書館、幼稚園、保育園、児童センター、子育て支援センターの職員と市立図書館職員の合同研修会を開催し、情報交換やスキルアップに努めます。		B	・ 合同の研修会は、日程調整が難しく実施していない。 ・ 市内の幼稚園、保育園へのアンケートの結果、図書館からの支援を必要としている園を把握できたため、今後個別に対応していきたい。	74
4-2-4	■ 「読書週間」「子ども読書の日」を通じた啓発・広報				
	・ この期間には、幼稚園・保育園や学校、市立図書館をはじめとする公共機関、ボランティアグループ等がそれぞれ工夫を凝らした啓発や広報に取り組んでおり、今後も引き続きこれらの活動を支援していきます。		A	・ 春の「こどもの読書週間」には、館内に特集コーナーを設置し、小学2年生へ「としょかんからのしょうたいじょう」を配布している。 ・ 秋の「読書週間」には、「おはなしマラソン」を実施している。 ・ H29/10月号の広報しまだで「島田市子ども読書活動推進計画（第三次計画）」を紹介した。	75